

キャラクター名
ファイブ・ヴァーチュー

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	フリーター	カヴァー	ジムトレーナー
	パロール					
オプション			年齢	26	性別	男
覚醒	死	衝動	解放	初期侵食率	49	%
出自	安定した家庭	経験	大転落	邂逅	殺意	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	1	1	0			2	行動値	8
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	4	0	0			4	戦闘移動	13
社会	1	0	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避			知覚			意志	1		調達		
運転:四輪車	2		芸術:			知識:神話	2		情報:ウェブ	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
生還者	P	N		
てんごくくん	P 愛	N 疎外感		
ファイブ	P 信頼	N 嫉妬		
「狂気の頭脳」ロバート・ジョート	P 好奇心	N 無関心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
拒絶領域	3	基+5	常時	至近	自身	自動	-	
効果: RW33、暴走中の常時HPダメージ-[Lv×5]								
赤方偏移世界	5	2	セットアップ	視界	単体	自動	-	
効果: EA31、そのラウンド中の対象の行動値+[Lv×2]し、戦闘移動距離+10する。								
魔王の外套	3	5	マイナー	至近	自身	自動	120	
効果: RU16、そのシーン間、受けるダメージを-[Lv×5+5]する。暴走する。								
バーサークセルフ	1	3	イニシアチブ	至近	自身	自動	-	
効果: EA85、他エフェクトと組み合わせ不可。暴走を受け、そのラウンド間命中ダイス+2								
雲散霧消	5	4	オート	至近	範囲(選択)	自動	-	
効果: EA121、ダメージ-[Lv×5]、エフェクトによる攻撃のみ								
原初の白:デモンズウェブ	5	2+2	オート	10m	単体	自動	80	
効果: EA69、対象へのダメージを-[Lv+1]D点する、								
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100	
効果: EA33、判定を失敗させる。								
セットバック	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: EA32、重圧を受けても使用可能。暴走以外のパッドステータスをLv個回復する。								
孤独の魔眼	1	4	オート	視界	効果参照	自動	-	
効果: EA30、自身を含む範囲(選択)の攻撃を自分単体に変更。								
崩壊のスフィア	3	2d10	オート	視界	単体	自動	120	
効果: RW33、対象が行うダメージロールの直前に使用。そのダメージを+[Lv×2]Dする。								
原初の紫:氷盾	3	2+1	オート	至近	自身	自動	-	
効果: EA107、ガード値+[Lv×5]								
魔人の盾	3	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果: EA35、ガード値+[Lv×10]								
カバードィフェンス	2	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: EA130、ダメージロールの直前に使用。カバリングを行う。								

一人称:おれ 二人称:君、お前
口調:敬語は使わない。ちょっと子供っぽい
性格:強がり自分の弱いところを見せるのが嫌い。かまってちゃん自己主張が激しい。寂しがりよくいじける。ノリはいい。

もうずっと昔のことでよく覚えてはいないが、こうなる前の人生はやたらとついていなかった。友人の裏切りから始まって、そこから歯車が狂ったように怪異に巻き込まれる日々。それでもそれなりに生きてきたと思っていたけど、人生はそううまくはいかなかった。すべての正気を費やし、ほやける思考の端どこか安心していた。これで終われど。でも、そうではなかったんだ。それは、「悪夢」の始まりに過ぎなかった。

様々な怪異に見舞われ、正気を失い精神的に死んだ。しかしその際、肉体に宿った魂(精神?)にレネゲイドが宿った。その状態で浮遊をしていたところ、あるレネゲイドピーイングにつかまり、そのレネゲイドピーイングが作り出した仮想空間で実験と称し何百年も悪夢を見せられ続けるはめになる。その実験の合間に(メンテナンスとか)月一で元の体に戻ってくることができていた。過酷な実験の末に世界を憎み、その体に宿っている自分ではないなにかにいらだち、それとその周りの人間たちに嫌がらせをするなどをしていた。その影響もあり、レネゲイドピーイングのファイブはたびたび狂気に陥っている。てんごくくんと出会い、最初は殺しかけるも色々話をしているうちにほだされてしまう。また、現状は自分を捕らえていたレネゲイドピーイングから解放されており、自分のいない間にいつの間にか宿っていたもう一人のファイブと体を共有し暮らしている。

